サンバレー SV-3
管球式ラインコントロールアンプ

¥35,000(税，送料込み)

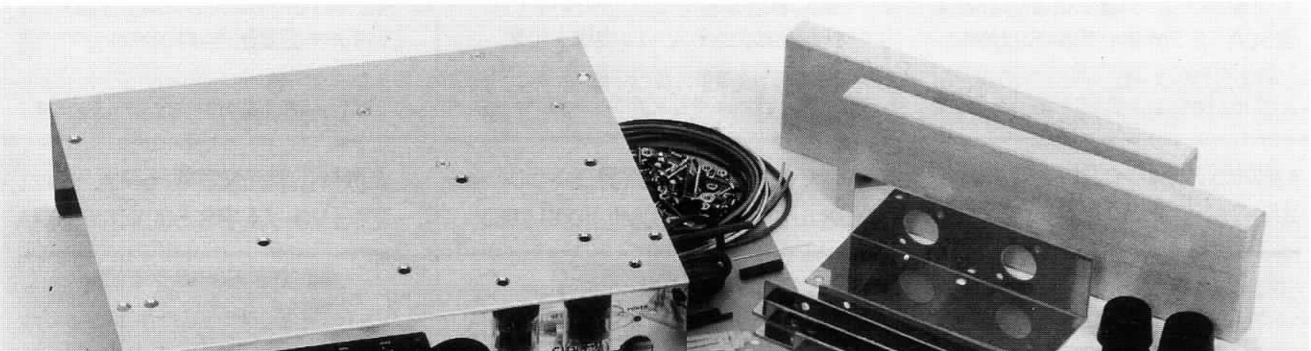


●主な仕様
入出力：入力(ライン2)，出力(2)
出力インピーダンス：1kΩ以下
利得：10dB(1kHz)
周波数特性：20Hz〜20kHz
トーンコントロール：
低域＋8dB(50Hz)，高域±8dB(10kHz)
SN比：80dB
残留ノイズ：0.1mV以下
使用真空管：6N1P(2)
寸法・重量：268W×70H×235Dmm・約2.5kg
●問い合わせ・資料請求先
(株)サンバレー　MJ8係
〒448-0847 愛知県刈谷市宝町8-30
TEL 0566-21-0221

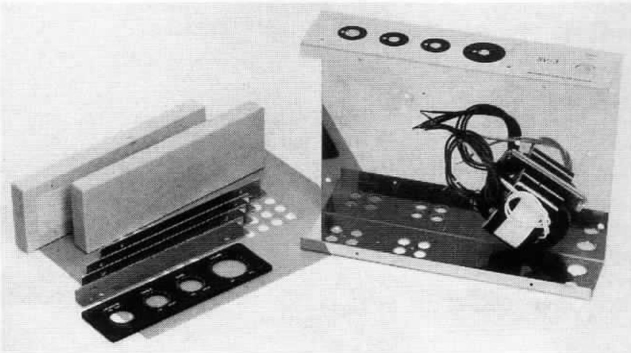
近号のMJ誌の広告でご覧になった方も多いと思うが，「〈ザ・キット屋〉目指せ！　日本一の管球キット専門店」のサンバレーから，新たに戦略的価格35,000円のラインアンプキットが発表された．

サンバレーは，トヨタグループの原点である豊田自動織機製作所の子会社で，前身は消費生活協同組合という異色の会社である．当初は有名キットメーカーの製品の販売からスタートしたが，現在はメーカー(アドバンス，ウエルカム)との技術提携による自社ブランド「SVシリーズ」の開発に力を入れている．SVシリーズには，すでに300Bシングルの SV-1と845シングルのSV-2があり，本機はその第3弾，コントロールアンプSV-3である．

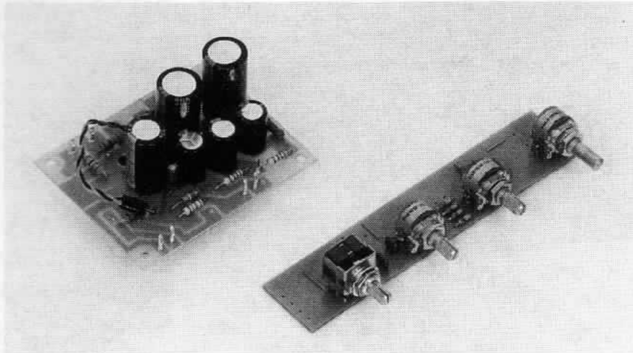
SV-3の特徴は，何といってもラインアンプにトーンコントロールを付けたことにある．近年，トーンコントロールは音質劣化の原因として排除される傾向にあったが，上手に使えばこれほど便利なものはない．パワーアンプやスピーカーの違い，さらに部屋の状況や音量によっては高低域補正が不可欠となる．もっと積極的に使ってもよいと考えるのは筆



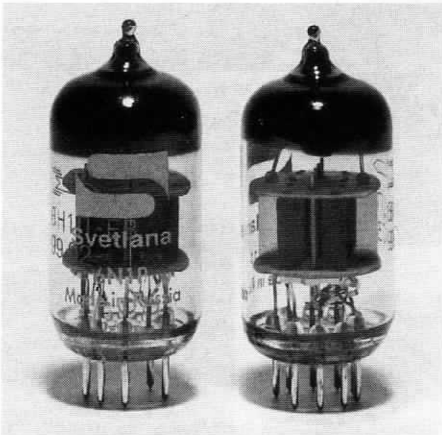
キットに梱包されている全部品．配線の込み入るVR周りと高圧を扱うB電源整流部は完成基板化されている．
個人でこれだけのパーツを集めようとしても，とても本機の価格では無理だろう



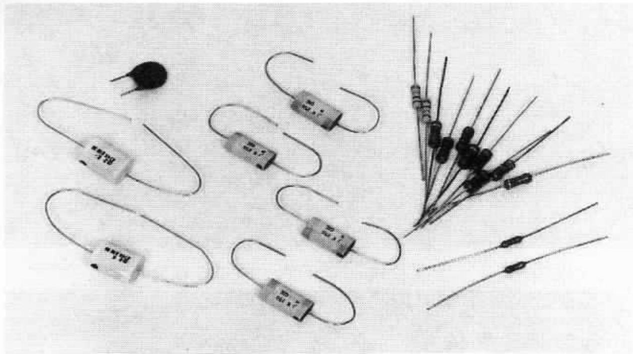
ケースの天板部分はコの字型の鏡面仕上げステンレス製．これにスモークアクリルの正面飾りパネル，鉄底板，サイドウッドが組み合わされる構造



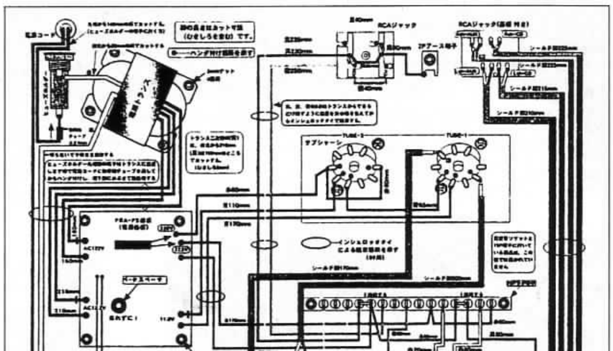
基板にアセンブルされたB電源部(左)，入力セレクターとボリュームおよびトーンコントロール部



選別とエージング済みのスヴェトラーナ製6N1Pが2本付属



フィルムコンデンサーにはすべて方向性のマーキングがなされており，マニアックなこだわりが感じられる．抵抗はカーボン皮膜の一般的品種が主体



組み立てマニュアルに付属する実体図．マニュアルはカラープリントのA4判6枚構成

者ばかりではないだろう．

トーンコントロール回路はCR型だが，ちょっとした工夫がなされている．音楽再生に重要な中音域での音のカブリを避けるため，上昇(下降)の開始点を高域10kHz，低域50Hzにずらしている．さらに現実的な使い勝手を考え，低域はブーストのみである．

真空管はエージング済みの**6N1P**(**6DJ8**相当，スヴェトラーナ製)使用し，出力はカソードフォロワーで低インピーダンス化を図っている．使用しているCRは一般品だが，フィルムコンデンサーにはすべて方向性のマークが付けられ，開発者のこだわりが感じられる．ゲインは10dB(約3倍)だからCD派には使いやすい設定であろう．

電源トランスは小型高性能なRコアタイプ用い，余裕あるフィルター回路とヒーターのDC点火によりハムは皆無ということだ．なおボリュームとトーンコントロール部，電源部は基板化され，メーカーサイドで完成済みとなっている．

カラー刷りのマニュアルには回路図，実体配線図，詳細な部品の取り付け図，そして説明文には実装上のあらゆる手順が記されているので，初心者でも製作上の心配はいらない．さらに真空管周りの配線にはカラー写真が添付され，配線のようすを立体的に見ることができる．

低価格ながら，金メッキ入出力端子，ステンレスケース，天然木サイドウッドなど，外装にもユーザーサイドに立った気配りが見られ好感がもてる．同社創立10周年記念として，今夏から秋に**KT66**，**KT88**，**845**のプッシュプル3機種が発表される予定とのことで，大いに期待したい．　(柳沢正史)